

マイタイムライン作成地区別ガイドライン
〈片浜地区〉

片浜地区について

洪水常襲地区ではありませんが、地区の西北部を流れる沼川、沼川と合流する高橋川、南東部を流れる新中川の、それぞれ洪水浸水想定区域に指定されています。

沼川の影響を受ける西北部、新中川の影響を受ける南東部はともに川沿いを含んでおり、河岸浸食のおそれが高い区域に指定されています。

東海道本線を挟んで北側はかつて工業地帯・農業地帯でしたが、近年は住宅も増えてきており、大雨のときは水位の変化に注意が必要です。

1 該当する単位自治会

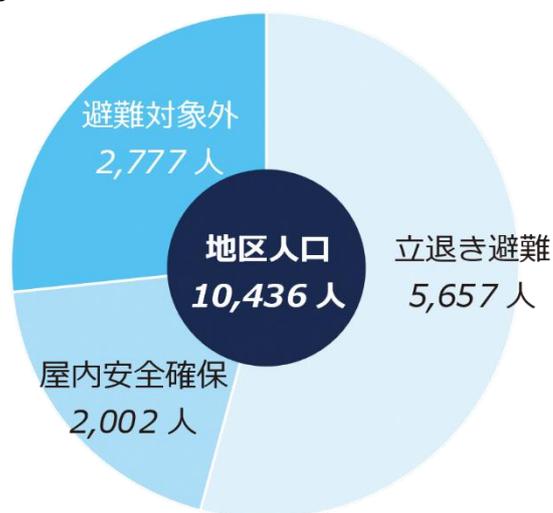
西間門、小諏訪、大諏訪、松長、大諏訪線北

2 地区内で洪水浸水を及ぼす河川

沼川、高橋川、新中川

3 地区周辺の雨量

- 令和元年 10 月台風 19 号
193.5mm (10/11~12 日)
- 令和 3 年 7 月豪雨
336.0mm (7/1~3 日)
- 令和 3 年 9 月豪雨
145.0mm (9/1~2 日)



図：地区の避難人口の割合

4 地区の避難人口と指定緊急避難場所

地区内の避難人口は、立退き避難が 5,657 人、屋内安全確保が 2,002 人、合計 7,659 人となっています。片浜地区の人口は 10,436 人のため、7 割超の方が立ち退き避難又は屋内安全確保が必要な状況です。

指定緊急避難場所として片浜地区センター（片浜小学校）、片浜中学校を指定しています。市が避難情報を発令したときは片浜地区センターを避難場所として開設します。

自主避難者がいたり、地区センターだけでは避難者を受け入れられないときは、片浜中学校を開設します。

片浜中学校は洪水浸水想定区域内に立地するため、状況に応じて上層階に避難する必要があります。

避難場所	延べ床面積 (㎡)	※収容人数 (人)
片浜区センター (片浜小学校)	9,191	1,949
片浜中学校	2,883	611

※収容人数は感染症等に配慮しない形での目安

5 洪水地区タイムライン例

西北部を流れる沼川、南東部を流れる新中川の付近で、過去に道路冠水が発生しており、低地帯では浸水被害の注意が必要です。

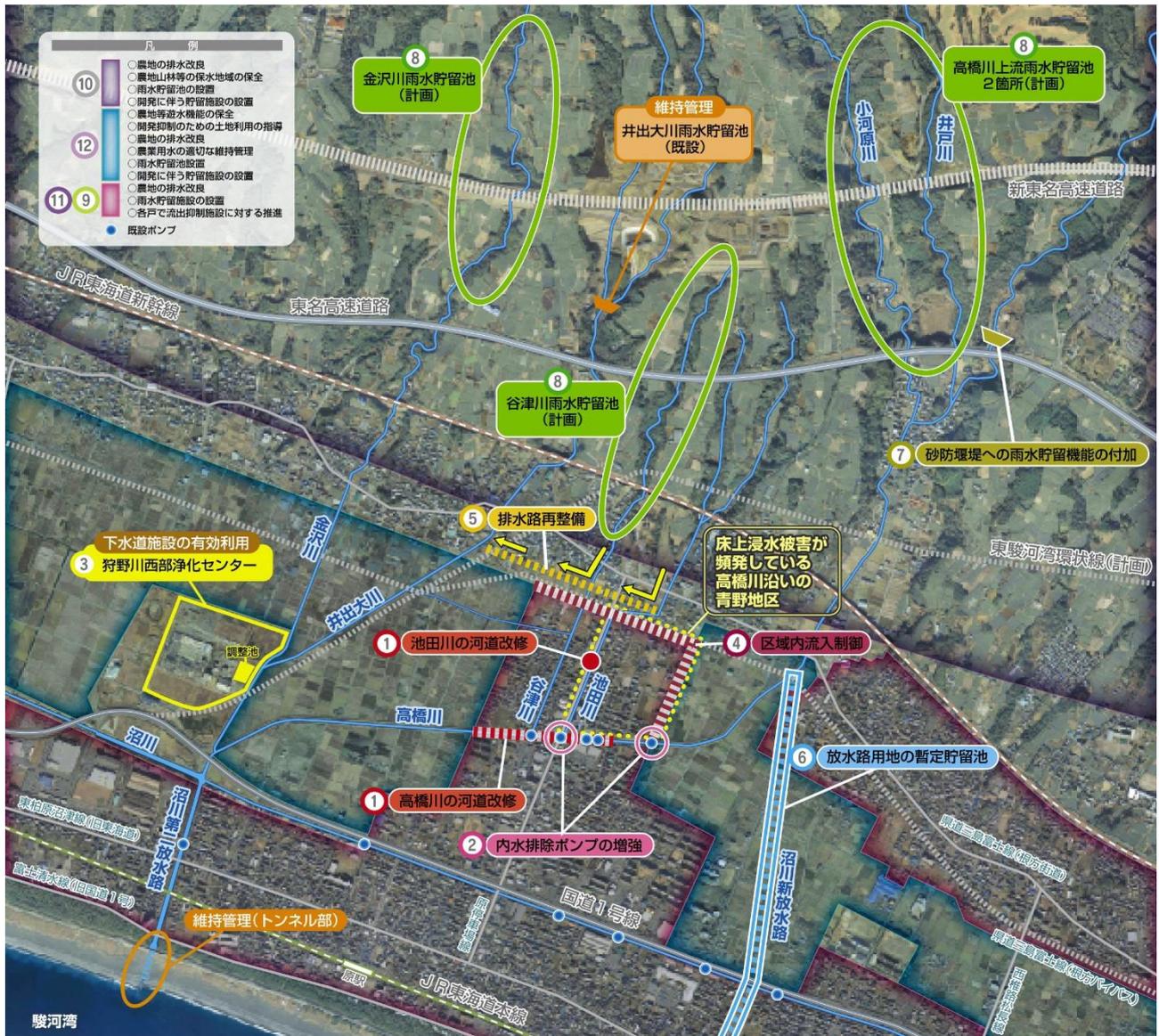
洪水浸水想定区域における浸水深は1～3 m、浸水想定時間は概ね半日となっています (いずれも想定最大規模)。

水位状況は静岡県サイポスレーダーやテレビの d ボタン等から最新の情報を確認できます。

河川名称	警戒 レベル	沼川 今沢橋	高橋川 青野	新中川 丸子橋	対応
堤防高	5相当	－	4.2m	4.1m	自宅が浸水していないならば最新の注意を払って立退き避難 避難行動要支援者がいる場合は2階以上など自宅の高い場所に避難 河川の付近に居住していてすでに付近が浸水している場合は立ち退き避難はしない
氾濫危険 水位	4相当	－	3.0m	2.73m	避難要支援者は避難開始 健全者も立退き避難または屋内安全確保により全員が安全な場所へ避難する
避難判断 水位	3相当	－	2.2m	1.8m	連合自治会長は単位自治会長に、必要に応じ公民館や自治会館を避難所に開設するよう依頼 避難行動要支援者は避難を検討 市の避難所が開設された場合は必要に応じ民生委員や防災指導員等と協力し避難行動要支援者に声掛け又は同行避難
氾濫注意 水位	2相当	2.0m	1.8m	1.8m	情報ツールによる大雨や気象情報等の状況確認開始 非常持ち出し品の準備 避難行動要支援者は立ち退き避難の準備、2階以上に住居がある人は2階以上へ移動
水防回待 機水位		1.5m	1.5m	1.8m	民生委員や防災指導員と協力し避難行動要支援者への声掛け

6 沼川（高橋川）流域豪雨災害アクションプランより

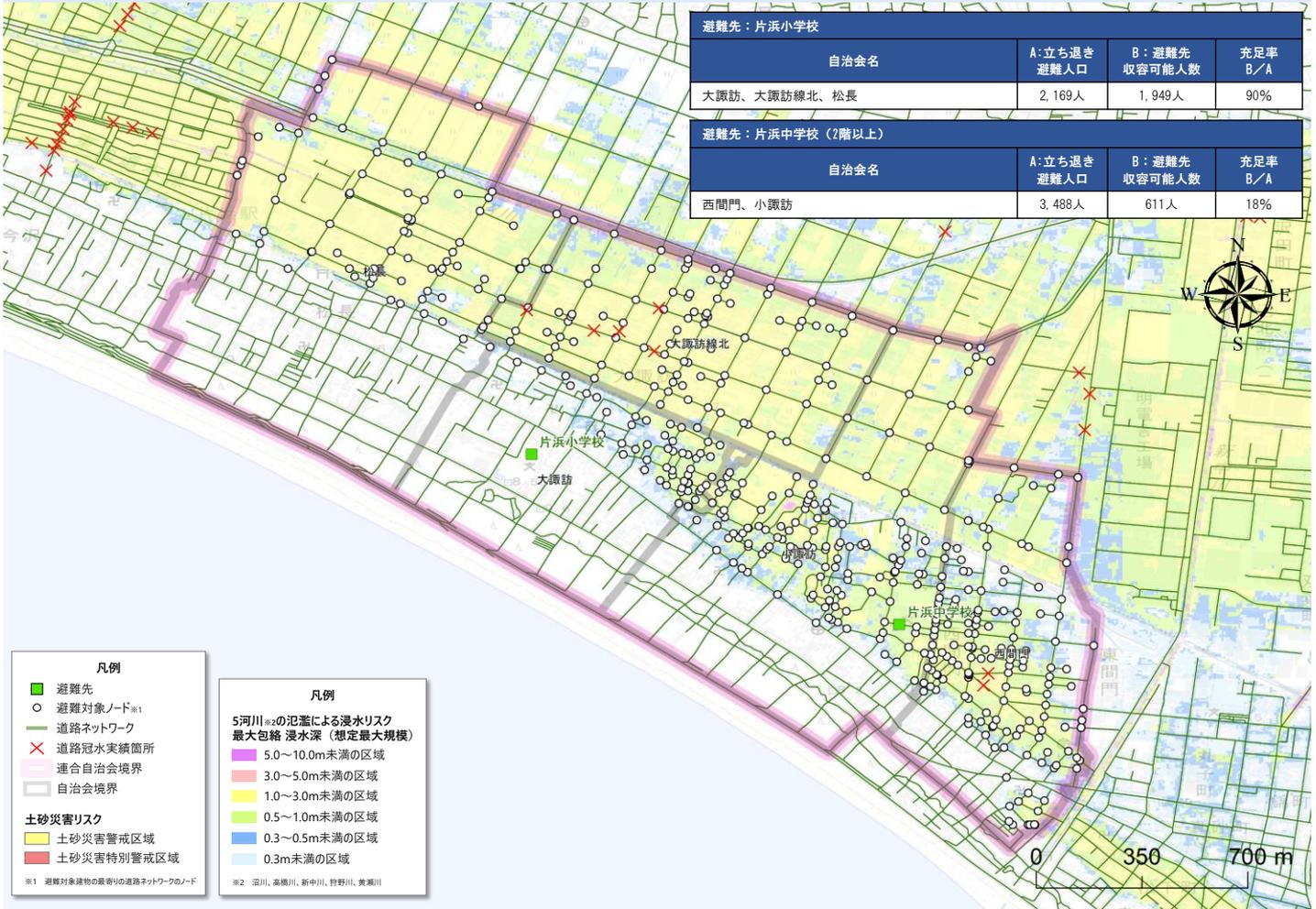
平成 20 年に策定された沼川（高橋川）流域豪雨災害アクションプランに基づき、雨水貯留地や沼川新放水路の整備に向けた取り組みが進められています。



7 地区別カルテ

避難判断水位到達後に避難行動を開始したときは、おおむね氾濫危険水位までに避難場所への避難を完了できる状況となっていますが、（508 箇所の結節点のうち 410 箇所が避難可能の青色を示しています。）現状の避難場所である片浜小学校と片浜中学校が線路より南側にあるため、線路より北に居住する方の一部は避難場所に到着できない可能性があり、特に避難行動要支援者の方は避難判断水位に到達する前に避難を開始する必要があります。

片浜地区 地区別洪水避難カルテ 基本情報



避難先：片浜小学校			
自治会名	A:立ち退き 避難人口	B:避難先 収容可能人数	充足率 B/A
大諏訪、大諏訪線北、松長	2,169人	1,949人	90%

避難先：片浜中学校（2階以上）			
自治会名	A:立ち退き 避難人口	B:避難先 収容可能人数	充足率 B/A
西間門、小諏訪	3,488人	611人	18%

- 凡例**
- 避難先
 - 避難対象ノード※1
 - 道路ネットワーク
 - ✕ 道路冠水実績箇所
 - 連合自治会境界
 - 自治会境界
- 土砂災害リスク**
- 土砂災害警戒区域
 - 土砂災害特別警戒区域
- ※1 避難対象建築物の最寄りの道路ネットワークのノード

- 凡例**
- 5河川_等の氾濫による浸水リスク
最大包絡 浸水深（想定最大規模）
- 5.0～10.0m未満の区域
 - 3.0～5.0m未満の区域
 - 1.0～3.0m未満の区域
 - 0.5～1.0m未満の区域
 - 0.3～0.5m未満の区域
 - 0.3m未満の区域
- ※2 沼川、高橋川、新中川、狩野川、奥瀬川

片浜地区 地区別洪水避難カルテ 住民避難シミュレーション結果(冠水実績箇所:通行不可)



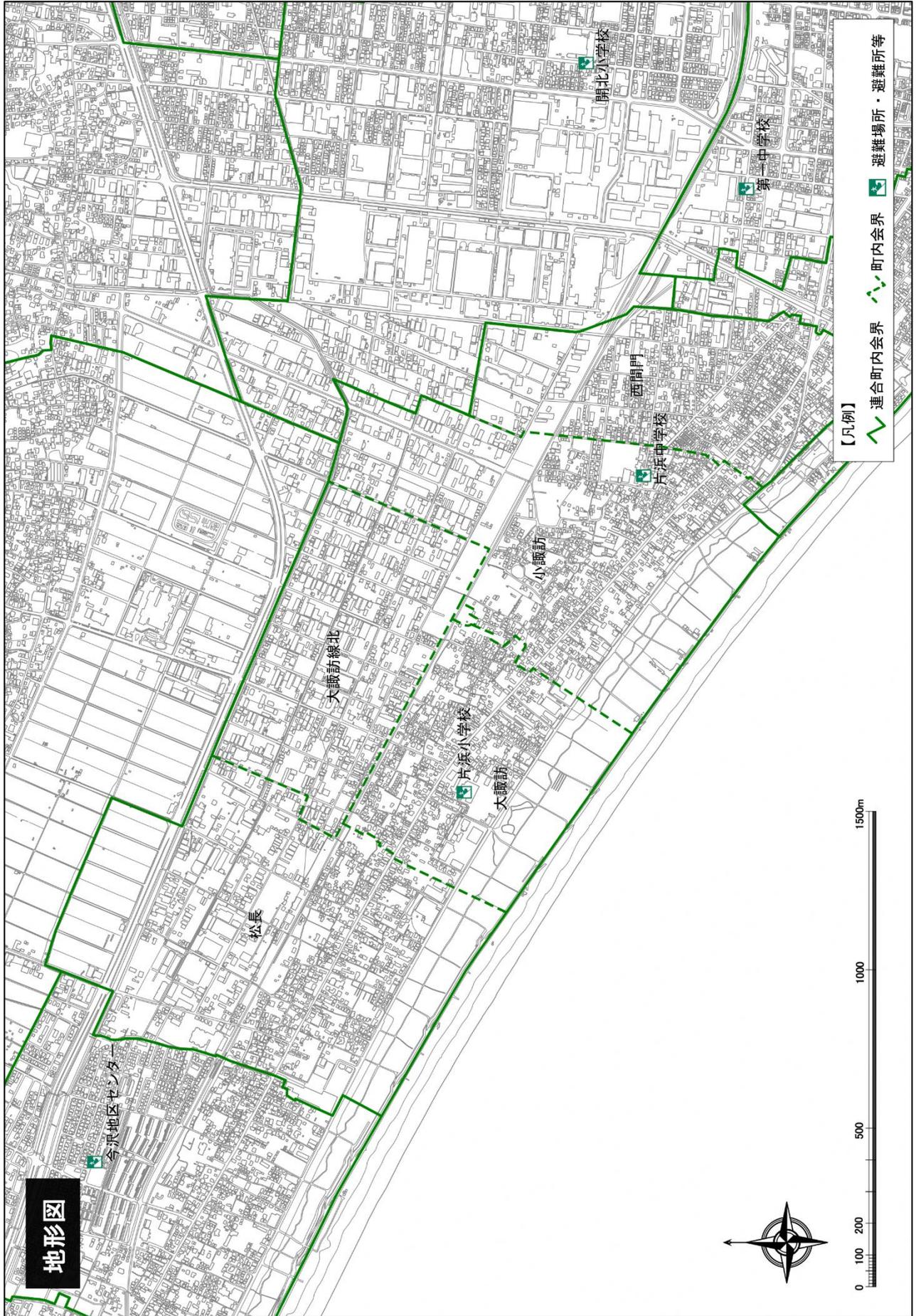
避難先：片浜小学校				
種別	最長避難距離	避難時間	危険水位設定時における避難想定時間※3	避難可否
一般者	1,791m	約30分	15分（沼川、高橋川、新中川）	不可
要配慮者		約60分		不可

避難先：片浜中学校（2階以上）				
種別	最長避難距離	避難時間	危険水位設定時における避難想定時間※3	避難可否
一般者	1,217m	約21分	15分（沼川、高橋川、新中川）	不可
要配慮者		約41分		不可

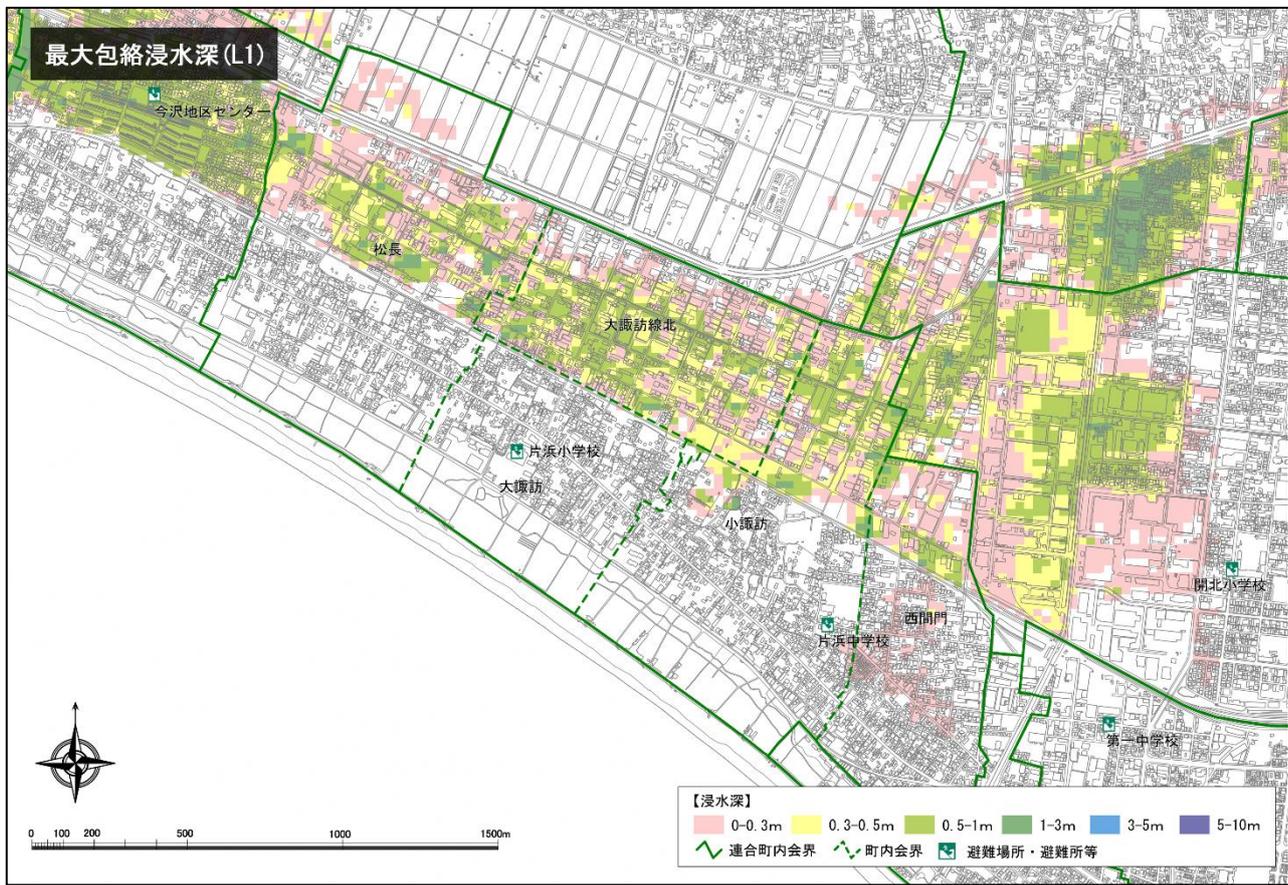
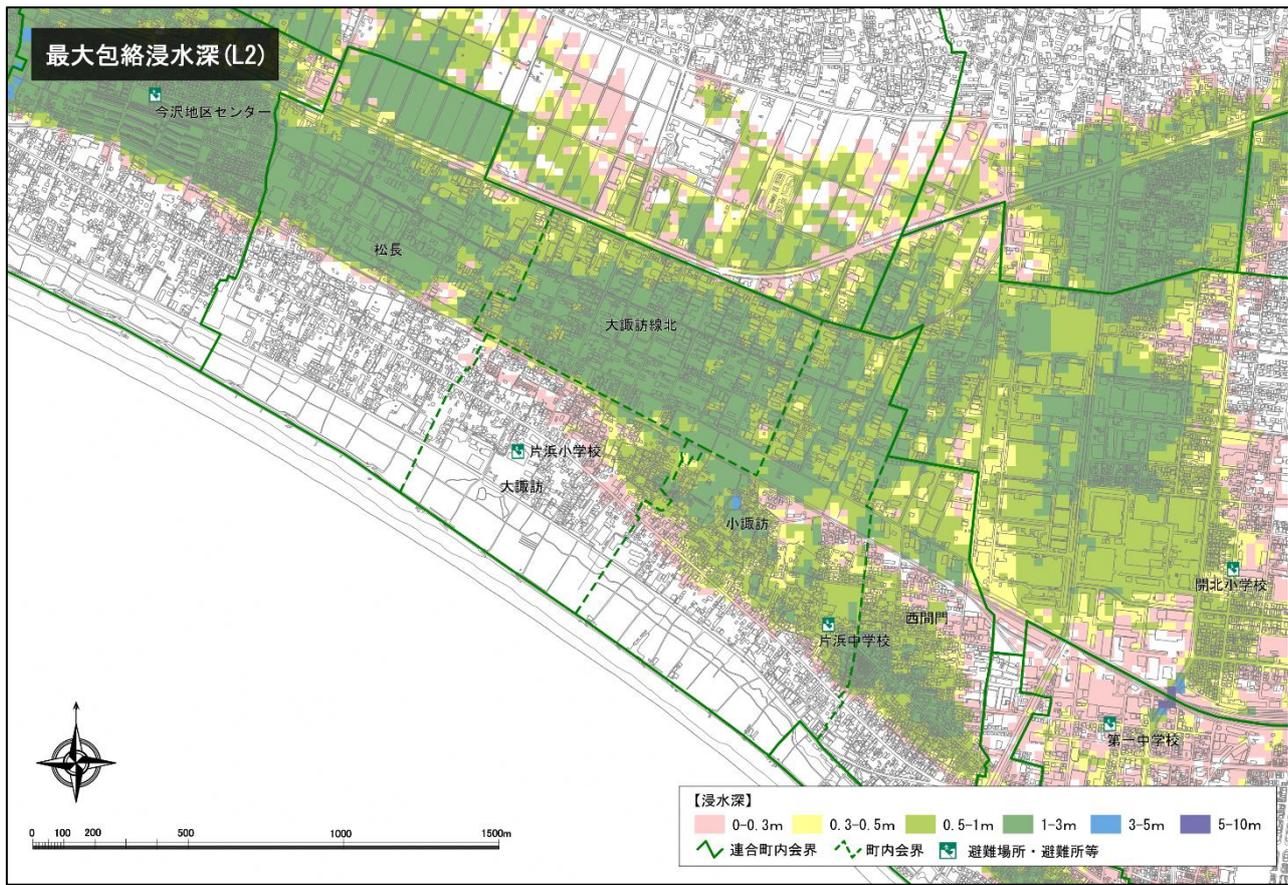
- 凡例**
- 避難先
 - 到達可能なノード※1
 - 到達困難なノード※1 ※2
 - 避難経路
 - 道路ネットワーク
 - 連合自治会境界
 - 自治会境界
- 土砂災害リスク**
- 土砂災害警戒区域
 - 土砂災害特別警戒区域
- ※1 避難対象建築物の最寄りの道路ネットワークのノード
 一般者が徒歩時間以内で到達困難なノードと、道路ネットワークの最寄りに到達困難なノードを含む
- ※2 一般者が徒歩時間以内で到達困難なノードと、道路ネットワークの最寄りに到達困難なノードを含む

※3 平成22年度一級河川東光川外水害避難支援対策事業に伴う避難判断水位等検討業務委託報告書（3.水位周知河川の基本事項の整理【基準水位の検討】）による住民の避難活動開始から避難完了までの時間＝15分

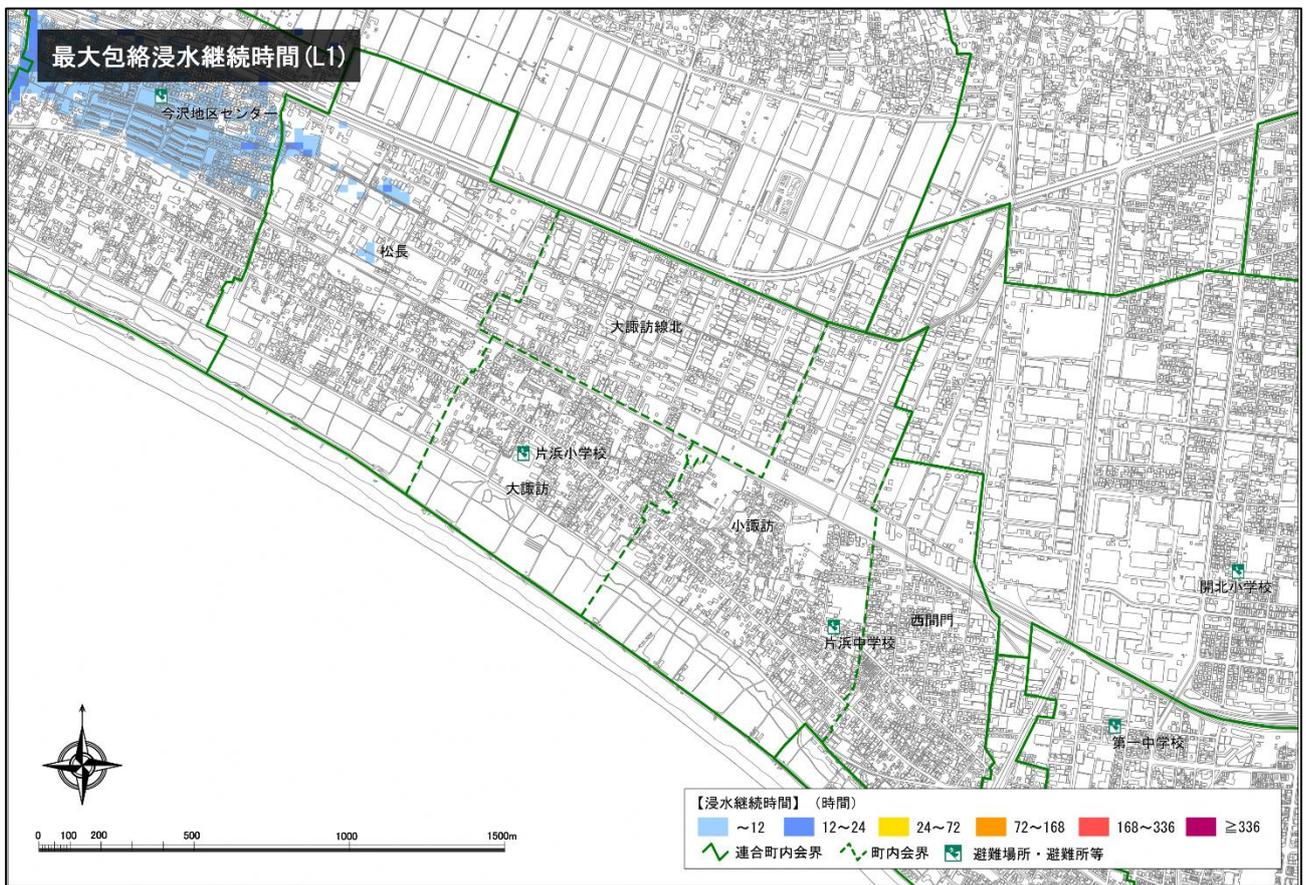
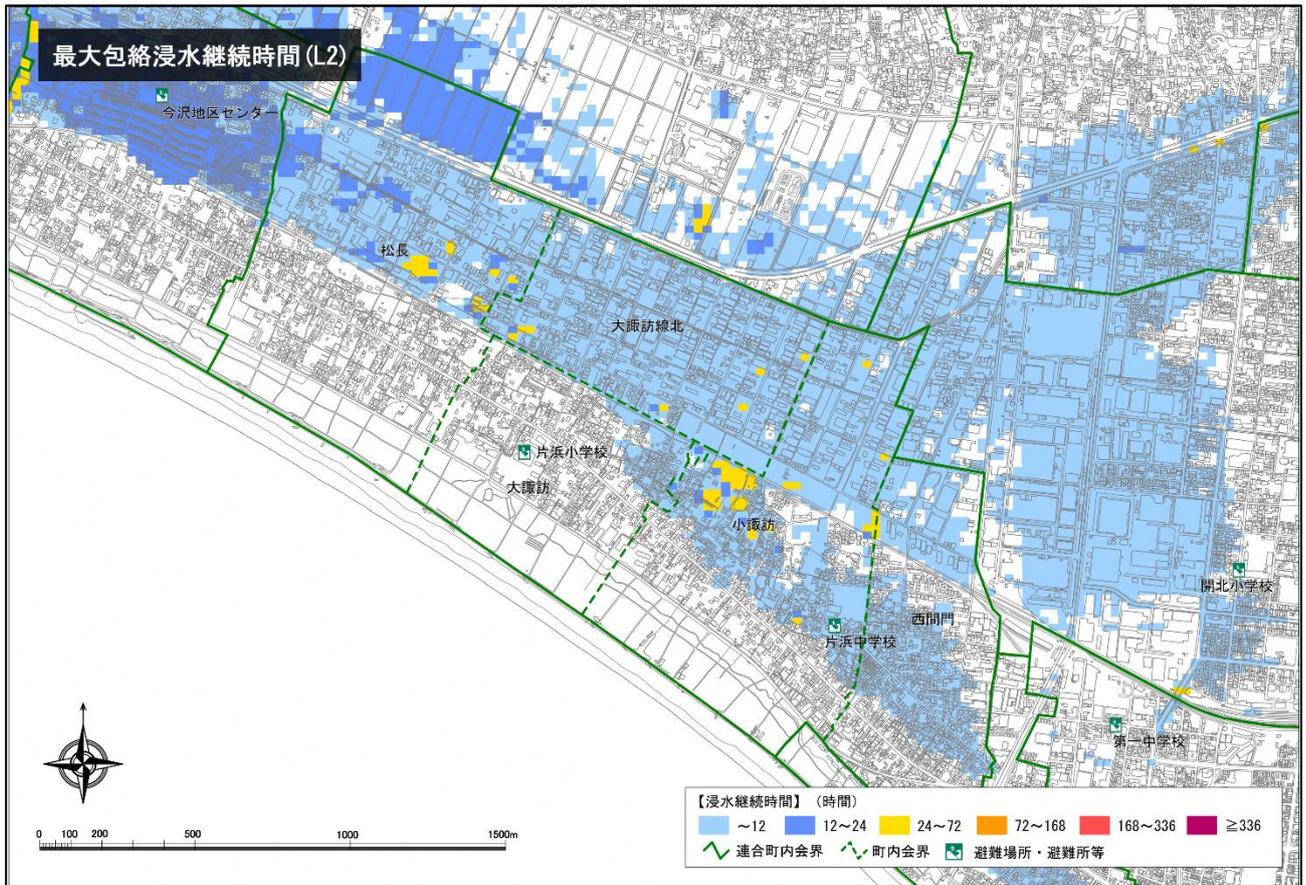
地形図で自宅の位置を確認してみよう



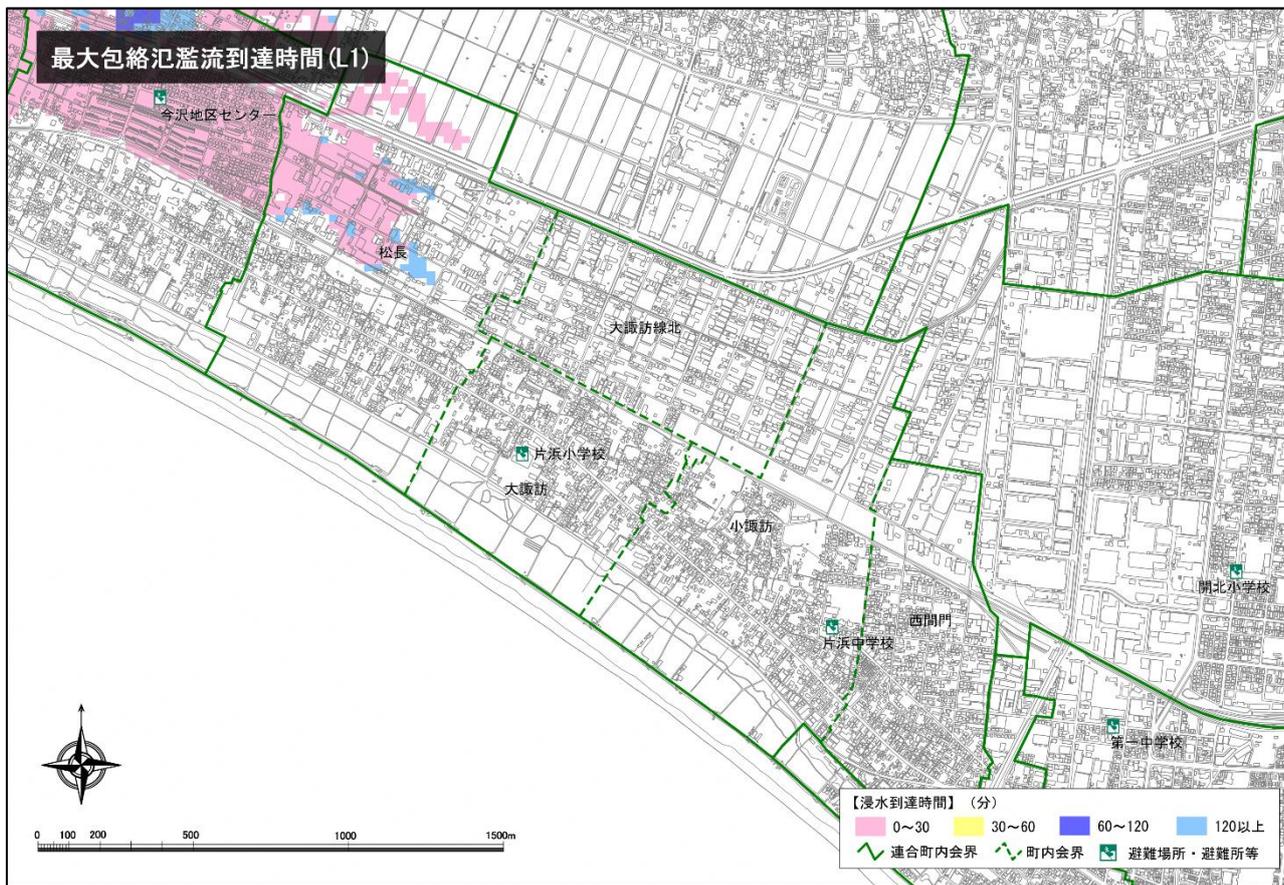
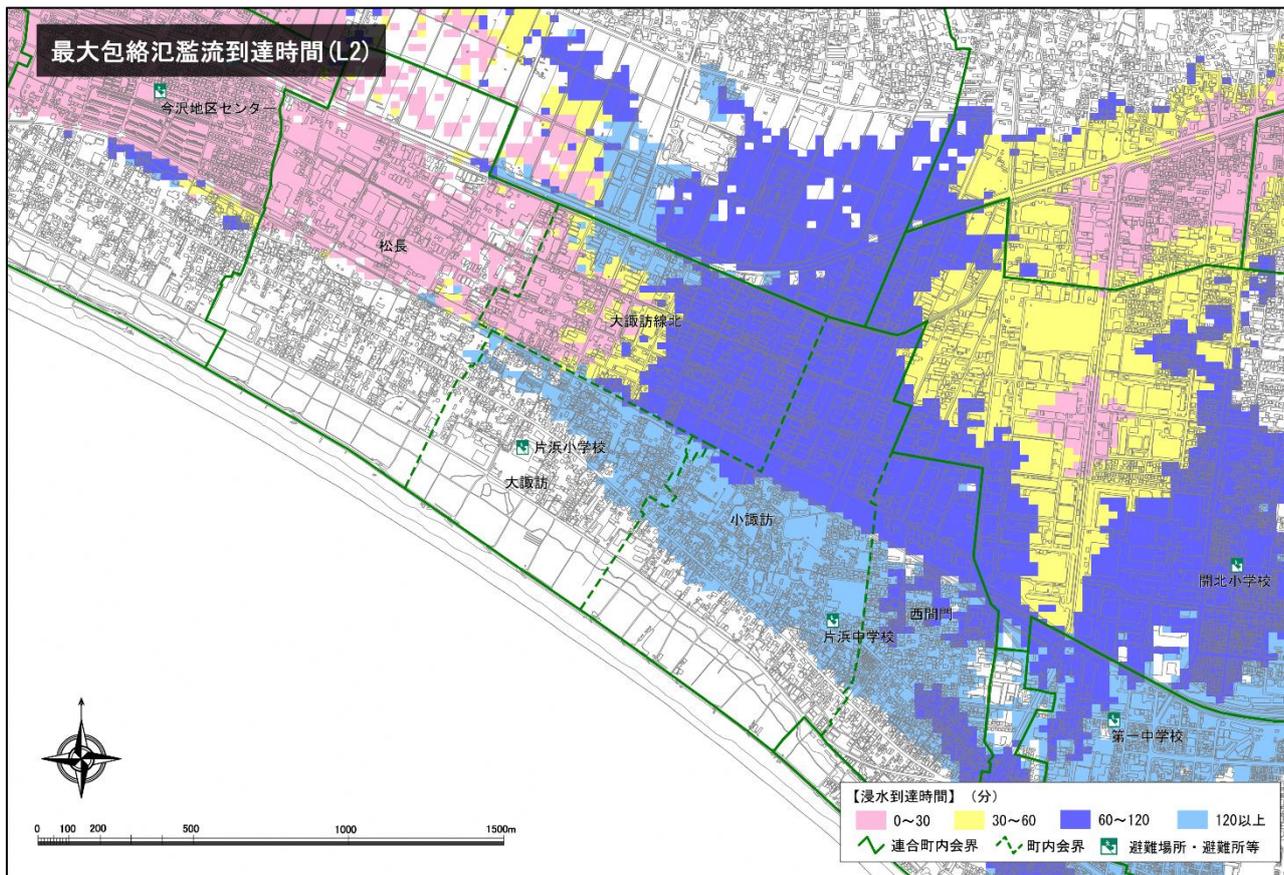
浸水範囲と浸水深を確認してみよう



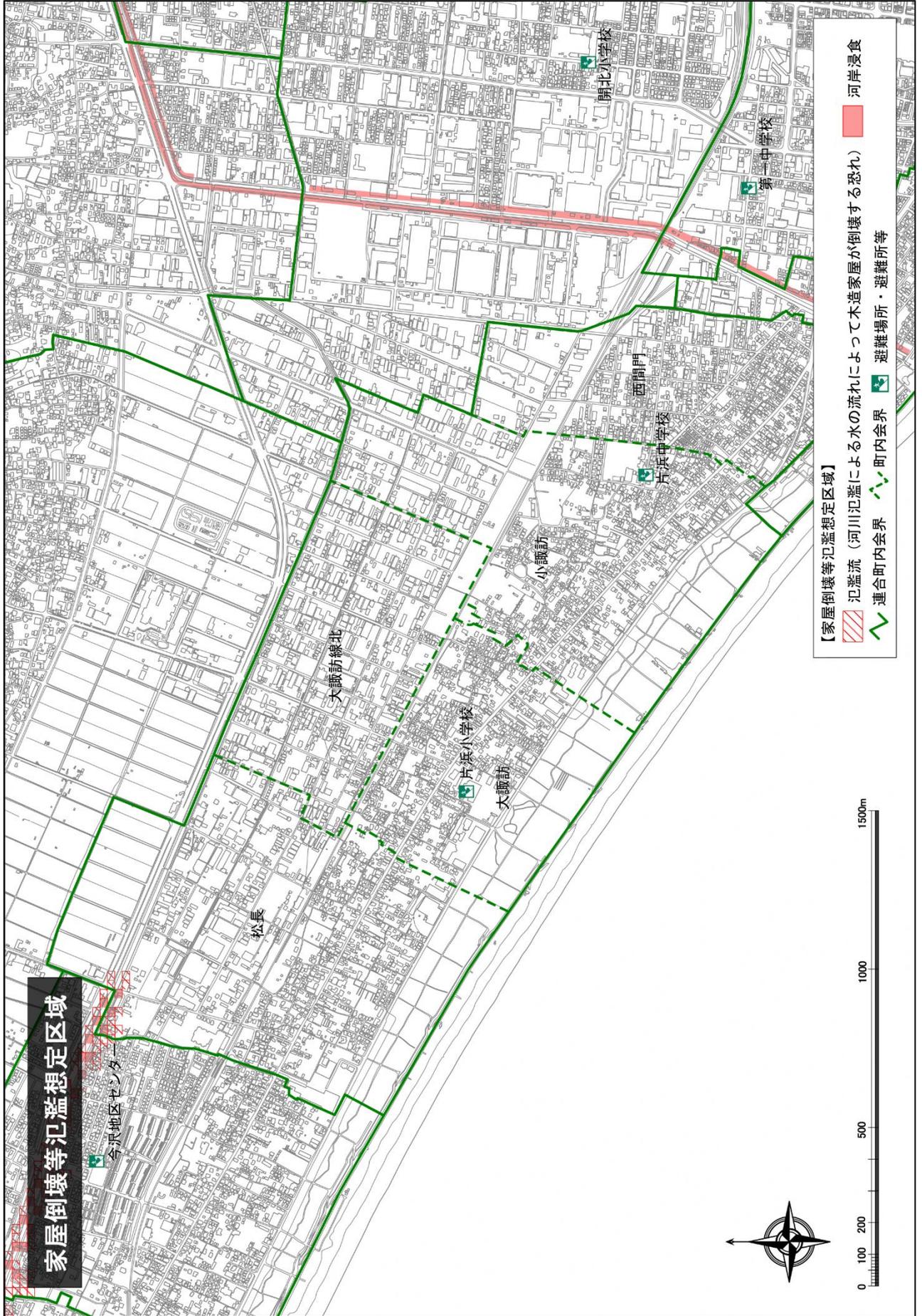
浸水継続時間を確認してみよう



氾濫流到達時間を確認してみよう



家屋倒壊等氾濫想定区域を確認してみよう



過去の浸水箇所を確認してみよう



土砂災害ハザードマップを確認してみよう

